

令和4年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 宮 小学校

作成日

令和 5年 3月 7日

1 教育目標

心身共にたくましく、明日の社会を築く、創造性豊かな子どもの育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る ・わかる授業、子ども主体の授業を 実践したと思う(児童・教師90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・いじめの解消率100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%) ・給食後の歯みがき(児童100%) ・朝食を食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・保幼小又は中学校校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の実践については、設定値を100%とするべきではないだろうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で子どもたちの成長に与えたデメリットを踏まえて考えることが大切である 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんの風景を絵に描かせることも効果的ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりは、自治会によって取り組み方も違って難しいこともありそう ・図書ボランティアさんやお花ボランティア等たくさんの方が学校に関わるのが大事である
取組状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けての取組は、外部から見ての評価は難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・心が育つことで、学力も上がっていくから、心の育成が大事 ・いやなことを「やめて」と言えないのかと思いながら、それができる子どもを育てる必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家庭状況を乗り越える力をつけさせる ・行政や専門機関を知ること→関わること 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの健全育成のために、地域でのかかわりや見守りが必要
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、理解不足の子どもや学習意欲をなくしている子どもへの働きかけは必要 	<ul style="list-style-type: none"> 上記を踏まえて ①本物に触れる・感じる等の五感の育成 ②職員間のコミュニケーション力の向上→子どもへのモデリング ③教職員間での授業交換(ゲストティーチャー等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の乗り方、交通安全の話聞いてもすぐに忘れる⇒常々の子どもへの働きかけは必要 ・避難訓練など防災に関する取組はこれからも必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口になる教員が必要ではないか ・中学校の生徒の様子が以前と比べて良い方向に変化してきたように、継続した連携が大切
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上については、学校にお任せするしかない部分が多い ・「授業がわかる」と回答できる子どもをさらに増やすために、先生方に頑張ってもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人になった時にも大事なことなのであいさつなどは地域ぐるみで取り組むことが大事 ・様々な機会をとらえ地域の方々との触れ合いを増やしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、朝ごはんがなくても学年に応じて自分で用意ができるように教職員でサポート方法を考える ・ヤングケアラー等について教職員間で共通理解の機会を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習後の大学生ボランティアをお願いするなど様々な人と関わる手立てを考えていくことが大事 ・学校の様子を地域に伝え共有することが必要

3 其他のご意見

・単発的なものでも、継続できるものでも、学校運営協議会委員に参加していただいたり主力となって進めていただけるイベントを模索していきたい